

出題のねらい

大問Iは文法力と語彙力を問う問題です。高校までで学ぶ文法事項や語彙・表現・ことわざなどが満遍なく問われます。

大問IIは長文の空所補充問題です。文法力だけでなく、文脈を理解する力が問われます。

大問IIIは会話問題です。前後の文脈を把握し、適切な応答をする力が問われています。また、会話の決まり文句が問われることもあります。

大問IVは長文読解問題です。コロナ禍で生じたオンラインサービスがポストコロナでも利用されるかについて書かれた文章で、英文の総合的な理解力を問う問題です。

大問Vは並べ替えによる英文完成問題です。語句を並べ替え、意味が通る英文を完成させる文法力が問われています。

【I】

【解答】 (20点)

1	①	2	③	3	①	4	③	5	①
6	①	7	④	8	③	9	③	10	②

(2点×10)

【解説】

- help の用法を問う問題。help は help+to 不定詞で「～するのを助ける」という意味を表すが、to を省略することができる。
- 関係代名詞 what を入れる。先行詞がないため that を用いることはできない。
- 「～だけれども」という譲歩の意味を表す as を選択する。
- admire は「賞賛する」という意味。文の意味は「George の研究は素晴らしかったので、研究者たちは賞賛せずにはいられなかった」となる。couldn't but do は「～せずにはいられない」という意味。
- in the right direction で「正しい方向」。
- when 節の動詞が過去形の形を取っている。文意は「最初の子どもが産まれたとき、Tom と Mary は結婚して3年だった。」となる。このように過去のある時点よりも前に生じたことを表すためには過去完了形を用いる。
- 「仮に～であったならば…だっただろう」というように、過去に実際に行ったこととは逆の仮定を表す仮定法過去完了の文。「If+had+ 過去分詞, 過去形助動詞 (would、should、could、might) + have + 過去分詞」を用いる。

- remind 「思い出させる」は remind+ 人 +of ～で「人に～を思い出させる」。
- used to+ 動詞の原形～で「昔は～だった」。be used to+ 現在分詞「～に慣れている」と区別して覚えること。
- You can't judge a book by its cover で、「人は外見で判断できない」という意味。

【II】

【解答】 (30点)

11	③	12	⑥	13	①	14	⑦	15	⑧
16	②	17	⑦	18	④	19	⑨	20	⑤

(3点×10)

【解説】

- quite は「とても」という意味の副詞なので、形容詞を入れる必要がある。前文で、「多くの人が富士山に登る」とあるので、crowded を入れる。
- 分詞構文であることを見抜けるかがカギ。presenting は「～を提示する」という意味。
- A as well as B は「A も B も、A および B」という意味を表す。ここでは A に名詞句が入っているので、B にも名詞句を入れるが、(13) の直後にすでに views 「眺め」という名詞があるので、(13) には views を修飾する形容詞である breathtaking 「息をのむような」を入れる。
- try to+ 動詞の原形で「～しようとする」という意味。
- take は多くの用法を持つ動詞であるが、take+ 期間を表す表現で、「～の期間をかける」という意味になる。
- close to ～で「～の近くに」という意味。空欄部の前に very があることも空欄部に入る単語の品詞を考えるためのヒントになっている。
- 英文の前半で「岩が多い」と述べており、初心者には難しいことが推測される。空欄部の前に be 動詞があることから、文の意味と語形を考え recommended を入れる。
- 空欄部の前に and がある。and が結んでいるのは空欄部の前の動詞句 get some rest と空欄部以降である。get の前に助動詞 can があるため、空欄には動詞の原形である enjoy を入れる。
- 文章の意味から tall を入れる。
- 空欄部の前後から、be interested in 「～に興味がある」という熟語であることが分かる。

【Ⅲ】

【解答】 (15点)

21	⑤	22	⑨	23	②	24	①	25	⑦
----	---	----	---	----	---	----	---	----	---

(3点×5)

【解説】

- (21) run into+ 人で「偶然～に出くわす」という意味。runを見て、「走る」という意味だと勘違いしないこと。
- (22) 空欄部の前後から、「天気が良い」「汗をかいたときに使う」という情報が得られる。
- (23) 空欄部の後の Yuki の言葉から空欄部に雨に関連する言葉が入ることが分かる。waterproofで「防水の」という意味。
- (24) 最後の Carlos の台詞 (I burn easily) で「日焼けしやすい」と述べている。このことから、「日焼け止め (sunblock) を絶対に持っていくべき」という意味を表す 0 を選ぶ。
- (25) Thanks for reminding me で「思い出させてくれてありがとう」という意味。

【Ⅳ】

【大意】

最近の世論調査によると、コロナ禍に導入されたオンラインサービスを使い続けるアメリカ人は限られているようです。2020年、学校教育やオフィスワークなど、多くの日常生活がオンライン化されました。フードデリバリーサービス、オンライン活動、テレワーク、遠隔医療などがより普通になった。パンデミック中に多くのサービスが生まれ、再構築され、一般化した。オンラインショッピングやテレビ電話など、パンデミック以前から広く利用されていたサービスもある。

しかし、The Associated Press-NORC Center for Public Affairs Research の研究者たちは、新しいオンラインサービスが人気を維持するかどうかを知りたいと考え、調査を行った。この調査によると、新しいオンラインサービスを利用する可能性が非常に高いと答えたアメリカ人は3人に1人以下だった。この調査では、米国の成人の半数近くが、オンライン、つまりバーチャルな活動に参加したり、バーチャルな医療を受けたりする可能性はないと答えていることがわかった。また、コロナウイルスの大流行が終わった後、食品の宅配や集荷サービスを利用する可能性はないとも回答していた。この一方で、半数近くが、医療、コミュニティイベント、運動、宗教サービスのためのバーチャルオプションは、パンデミック後も継続してほしいと回答している。

Donna Hoffman 氏は、George Washington School の Connected Consumer センターでディレク

ターを務めている。Hoffman 氏は、「(オンラインサービスを) 使う、使わないという二択ではなく、オンラインと対面をハイブリッドした未来になる可能性が高い。」と述べている。彼女は、「人々は、これらの仮想オプションに利便性を見いだしている。」と述べた。Hoffman 氏は、「多くの仮想選択肢は、パンデミックの時に始まったかもしれない。これらは必ずしも健康上の安全に必要なものではない。単純に(生活を)便利にした」と付け加えた。

フードデリバリーサービス

40歳の Cornelius Hairston 氏は、結婚し子宝にも恵まれているが、彼の妻は医療現場の最前線で働いている。そのため、パンデミックの間、彼らはとても注意深く過ごし、必要なときだけ外出したという。Hairston 氏は、彼の4歳になる双子の息子たちは「COVID ベビー」であると言っている。幼少期の多くの期間、子供たちは食品店に入らなかった。また、一家は宅配サービスを利用して、店に行くのを避けていた。しかし、今後は「時々」あるいは「あまり」宅配サービスを利用しないだろうという。

また、一部のフードデリバリーやフードピックアップサービスは、直接購入するほど便利ではないとの声もある。Tony DiGiovane 氏は AP 通信に対し、地元アリゾナ州で COVID-19 の感染数が多いことに不安を覚えたと言った。71歳だった彼は、食材の宅配サービスを利用した。彼は、それが面倒なものであることに気づいた。「物を受け取るまでに、より多くの物が必要になった。」と彼は言った。彼はまた、ピックアップサービスやテイクアウトの注文にはいつも何か「足りないもの、間違っただけ」があったと付け加えた。

オンライン・ヘルスケア

イリノイ州に住む48歳の女性、Angie Lowe にとって、遠隔医療は便利なものだった。彼女が初めて遠隔医療を利用したのは、パンデミックの初期だった。仕事を休んだり、車で医療機関に行くことなく、医師と話をすることができたのだ。彼女は「初めての遠隔診療だったが、これが最後にはならないと思う。できることなら、これからも使い続けたい」と彼女は話している。彼女と夫は1年以上前に対面での活動を主とする生活に戻ったが、遠隔医療を使い続けているという。

63歳の Karen Stewart 氏は、ビデオ通話が便利であることを理解し、オンラインで何人もの医者に出会っているが、彼女は車を運転して病院に行く必要がない点に気に入っている。しかし、彼女は医療手術の前の予約がすべてオンラインになるのは「怖い」と話している。彼女はもっと「面と向かって」ケアされることを望んでいた。Stewart 氏は、「オンラインではわからないことを、医師が拾ってくれるかもしれない」と付け加えた。

一般入試／英語(中期)

パンデミックは、高齢者の身体的・精神的健康をサポートするために、対面サービスとバーチャルサービスのバランスを取る機会を作ったと、NORC の研究者である Alycia Bayne 氏は言う。Bayne 氏は、遠隔医療は、移動が困難な人、医療機関の近くに住んでいない人や一人暮らしの人を助けることができると述べた。しかし、技術には限界がある。Bayne 氏は、世論調査で、パンデミック後に高齢者がデジタルサービスを利用する可能性が低いのは、技術的難しさが原因かもしれないと述べた。

しかし、AP-NORC の調査では、すべての年齢層の成人でほぼ同じ割合の人々が、パンデミック後もバーチャルサービスを継続すべきと回答したことから「彼らは、バーチャルサービスの利点を認識している。しかし、パンデミック前の日常生活に戻る準備もできている」と指摘した。Bayne 氏は、新しいサービスは、それを必要とする人々にとって、利益になり、「明るい兆しは、これらのサービスが利用できるようになったということです。」と述べている。

【解答】 (20点)

26	②	27	④	28	⑤	29	①
----	---	----	---	----	---	----	---

(順不同OK) (5点×4)

【解説】

(26) - (29)

- ②いくつかのオンラインサービスがコロナ禍前から利用できたと述べている。第一段落の内容から判断できる。
- ④ AP-NORC 社の調査から、アメリカの成人の半数近くが、食品の宅配や集荷サービスを利用する可能性はないと回答していたと書かれている。
- ⑤ Donna Hoffman 氏は、オンラインと対面の二者択一ではなく、これらをハイブリッドした未来が来ると述べている。
- ①下から2段落目の Bayne 氏の言葉から判断できる。

【V】

【解答】 (15点)

30	⑤	31	③
32	①	33	④
34	③	35	①

(複数択一) (3点×5)

【解説】

- 問1 to 不定詞の形容詞的用法の理解が問われている。to 不定詞の前に very interesting という something を修飾する要素を置く。
- 問2 Nothing is more important than で、「～ほど大切なものではありません」という表現。
- 問3 「second」や「third」と最上級を組み合わせることで「2番目に○○」「3番目に○○」といった意味を表す表現。the + 序数 (second、third など) + 最上級という形をとる。